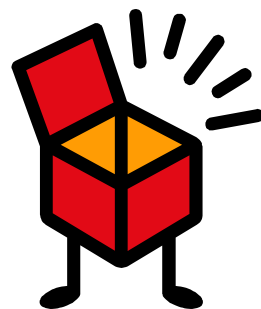


日立金属株式会社
2006年度決算説明



Materials Mag!c

2007年4月26日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

E-Mail : hmir@hitachi-metals.co.jp

連結業績要約



(単位:億円、()内は前年同期比)

	2005年度		2006年度		2007年度	
	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期 見込	通期 見込
売上高	2,842	5,907	3,101	6,463	3,320	6,750
営業利益	209	475	257	547	240	550
経常利益	203	453	250	516	225	520
税前利益	155	395	227	466	220	490
当期利益	62	172	117	221	110	255
ROE(%)	7.5%	10.0%	12.7%	11.7%	10.8%	12.2%
設備投資額	126	296	195	368	200	390
減価償却費	104	226	116	244	140	292
研究開発費	59	121	64	130	73	146

2006年度連結業績のポイント

売上高

前年度比9%(556億円)増加

高級金属製品	11%増
電子・情報部品	6%増
高級機能部品	14%増

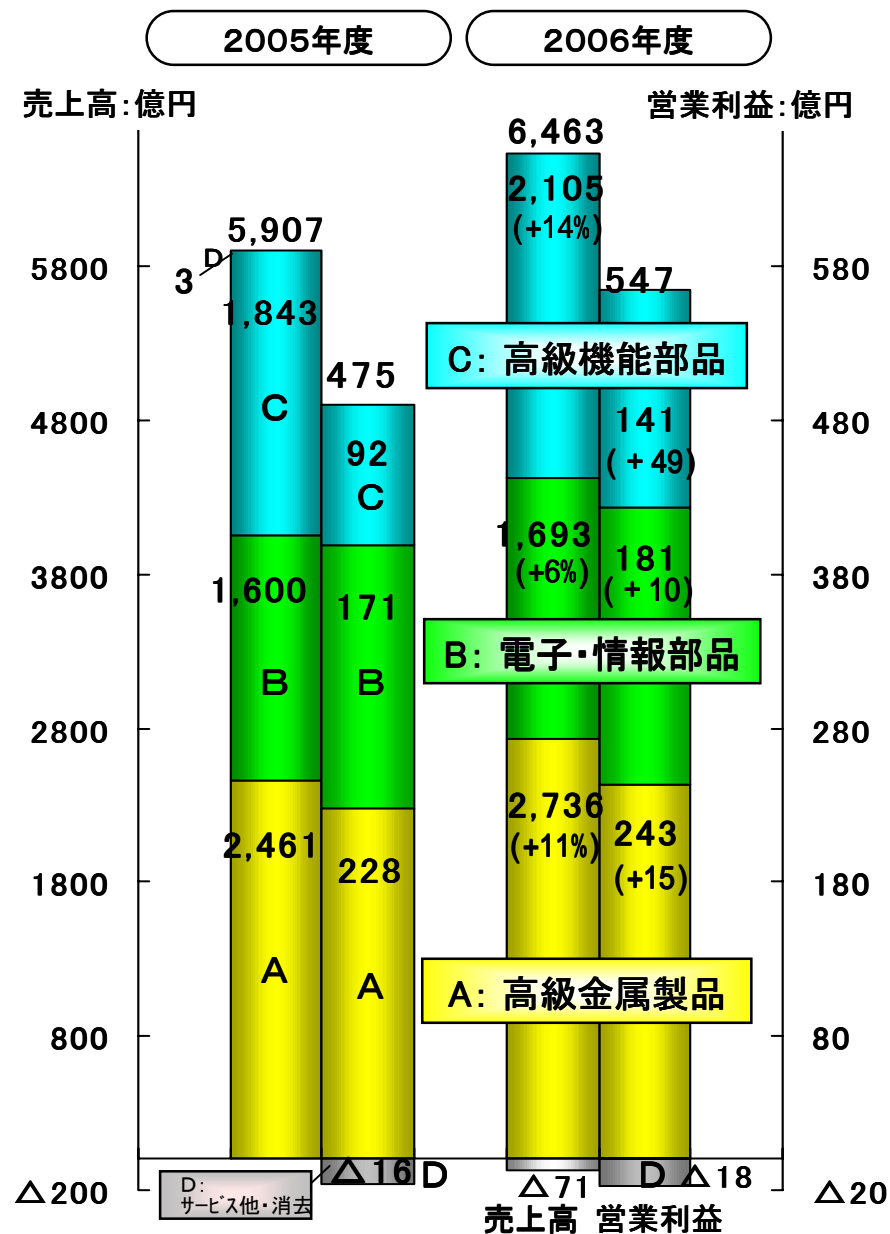
- 自動車関連製品、IT・家電関連製品を中心とした需要が好調に推移
- 海外売上高比率 40%
- 新製品売上高比率26%

営業利益

前年度比15%(72億円)増加

高級金属製品	15億円増
電子・情報部品	10億円増
高級機能部品	49億円増

- 原材料価格高騰や株式会社NEOMAXの株式追加取得に伴うのれん償却等による圧迫要因があったものの、コスト削減等を推進し増益
- 06年度ののれん償却負担増は7億円



2007年度連結業績予想のポイント

売上高

前年度比4%(287億円)増加

高級金属製品	7%増
電子・情報部品	13%増
高級機能部品	横ばい

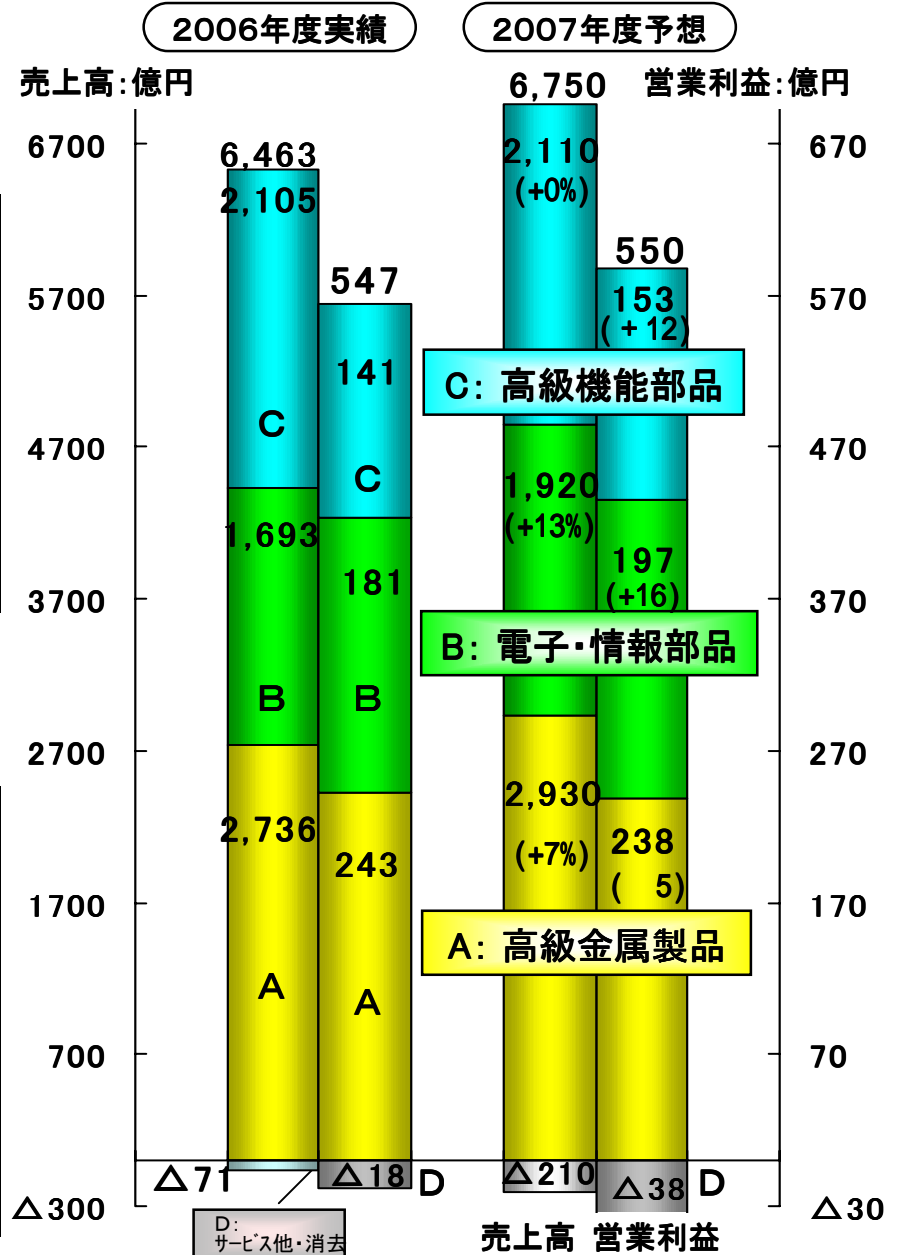
価格是正による売上増に加え、自動車関連製品、IT・家電関連製品を中心とした需要が引き続き好調に推移する見込み

営業利益

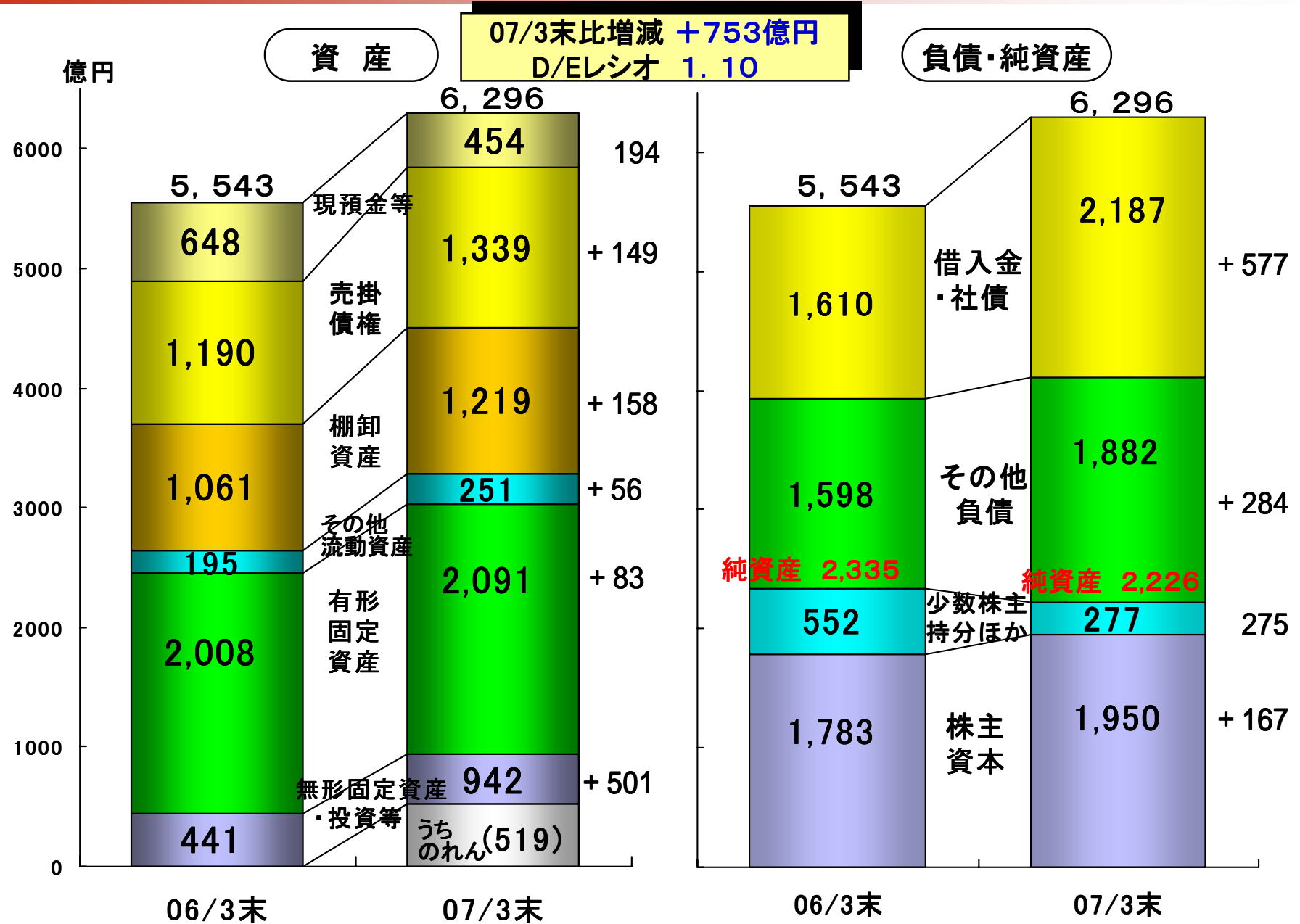
前年度比横ばい(3億円増加)

高級金属製品	5億円減
電子・情報部品	16億円増
高級機能部品	12億円増

売上増やコスト削減の推進により、税制改正による償却増やのれん償却費などを吸収していくものの、材料価格の高騰による影響により、高級金属製品は微減となる見込み



連結B/S残高



連結キャッシュ・フロー



(億円)

科 目	2005年度	2006年度
税金等調整前当期利益	395	466
減価償却費	226	244
設備投資	△301	△339
連結子会社株式取得	0	△866
その他	△44	△201
フリーキャッシュ・フロー	276	△696
借入金・社債の増減	△122	569
配当金支払他	△59	△60
換算差額	18	9
増加額または減少額合計	113	△178

(ご参考)各セグメントの事業構成(07年度～)



高級金属製品

特殊鋼カンパニー

ロールカンパニー

日立ツールグループ

電子・情報部品

NEOMAXカンパニー
(マグネット)

軟磁性材料カンパニー
(アモルファス)

情報部品カンパニー
(情報通信部品・OEデバイス・フェライト・ファインメット)

高級機能部品

自動車機器カンパニー

配管機器カンパニー

日立機材グループ

サービス他

販売・サービス会社

その他製造会社



本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動